【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和6年7月2日(2024.7.2)

【国際公開番号】WO2022/255039
【出願番号】特願2023-525684(P2023-525684)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ 63/02(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/22(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ 63/02
Ｂ０１Ｄ 53/22
Ｂ０１Ｄ 53/26

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月24日(2024.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筒状の外ケースと、
前記外ケースの内部に配される内ケースと、
前記外ケースと内ケースとの間の環状隙間に設けられる複数の中空糸膜と、
前記外ケースと内ケースの一端側と他端側で、各中空糸膜の中空内部を開放させた状態で前記環状隙間をそれぞれ封止し、かつ前記複数の中空糸膜を前記外ケース及び内ケースに固定する一対の封止固定部と、
を備える中空糸膜モジュールであって、
前記内ケースの外周面は、
前記一端側から他端側に向かう方向に対して垂直な方向における幅が、前記一端側から他端側に向かって一定である一端側外周面と、
前記一端側外周面よりも前記他端側に設けられ、かつ前記一端側から他端側に向かうにつれて、前記幅が徐々に拡がる他端側外周面と、
を備えると共に、
前記内ケースには、前記他端側外周面の内部側に前記他端側に開口する中空部が設けられ、かつ、前記中空部と前記環状隙間とを連通する複数の窓が設けられており、
前記外ケースには、前記一端側に片寄った位置に、前記環状隙間と前記外ケースの外側とを連通する連通孔が設けられていることを特徴とする中空糸膜モジュール。
【請求項２】
前記他端側外周面の内部側の前記中空部により形成される他端側内周面は、前記一端側から他端側に向かうにつれて、前記幅が徐々に拡がるように構成されていることを特徴とする請求項１に記載の中空糸膜モジュール。
【請求項３】
前記一端側外周面は、円柱面であることを特徴とする請求項１または２に記載の中空糸膜モジュール。
【請求項４】
前記他端側外周面は、テーパ面であることを特徴とする請求項１または２に記載の中空

糸膜モジュール。

【請求項５】

請求項１または２のいずれか一つに記載の中空糸膜モジュールと、

前記中空部に対して湿潤気体を供給する湿潤気体供給装置と、

前記一端側の前記封止固定部から前記複数の中空糸膜の各中空内部に、前記湿潤気体よりも湿度の低い乾燥気体を供給する乾燥気体供給装置と、

を備えることを特徴とする除加湿装置。